

とよのまなびコンソーシアムおおいた連携講座

豊の国学 分野別講座

「とよのまなびコンソーシアムおおいた連携講座」とは、大分県内の大学、短期大学及び高等専門学校などの高等教育機関が設立した「とよのまなびコンソーシアムおおいた」が主体となり実施する、大分県に関する様々な分野の専門的・学術的な教育内容等を連携・融合させた講座です。

専門的で、より高度な学習機会を提供することによって県民の生涯学習を支援することを目的として開講します。

今回、豊の国(大分県)の「人」と「産業」について深く知り、更に学びを深めていただくために分野別の講演会を3日に分けて行います。

対象

一般の方(各回とも定員45名)

受講料 無料

※ただし事前の申込みが必要となります。

会場

ホルトホール大分 2F サテライトキャンパスおおいた講義室
(大分県大分市金池南一丁目5-1)

申込締切

平成29年2月24日(金) 必着 ※申込方法は裏面をご確認願います。

《第1回》

平成29年3月5日(日) 15:00~16:30

大分の水素エネルギー

講師：大分工業高等専門学校 松本佳久教授

大分県はまさに水素エネルギーの宝庫であると言っても過言ではありません。水素エネルギー社会の到来に向けて、日本はどのように関連技術を開発しているのか。また大分は今後、どのように水素と関わっていくべきかを皆様と一緒に考えていきます。

《第2回》

平成29年3月20日(月・祝)

①13:30~15:00

②15:10~16:40

①福祉健康科学部の概要と理学療法士のミッション

講師：大分大学 阿南雅也講師

大分大学福祉健康科学部は平成28年度に少子高齢化率の高い大分県に対して、「地域包括ケアシステム」に必要な人材養成のために設置されました。そこで今回、福祉健康科学部の概要と大分県における理学療法士のミッションについて紹介します。

②企業教育、倫理の源泉としての大分

講師：大分大学 河野憲嗣教授

企業における人材教育の重要性は高まるばかりですが、一方で企業の不祥事は後を絶ちません。「倫理、道徳」をキーワードとして、大分が歴史的に培ってきた教育への取り組みから現代の組織が学ぶべきことを探ります。

《第3回》

平成29年3月26日(日) 15:00~16:30

大分県の救急医療と災害医療 一県民のセーフティーネット

講師：大分大学 石井圭亮准教授

大分県では、県民の安心安全な暮らしをサポートするため、社会のセーフティーネットである救急医療体制の構築に積極的に取り組んできました。災害時への応用を含む現状を講義し、受講者との情報共有を図ります。



学と学の連携による知の総合交流拠点
大分高等教育協議会

とよのまなびコンソーシアムおおいた (生涯学習分科会)構成機関

- 大分県立芸術文化短期大学
- 大分工業高等専門学校
- 大分大学
- 日本文理大学
- 別府大学
- 別府溝部学園短期大学
- 立命館アジア太平洋大学



「豊の国学 分野別講座」への申込方法等

- 申込みフォーム <http://www.he.oita-u.ac.jp/2016toyo2/> からお申し込みください。右記のQRコードからもアクセスできます。また、下記の受講申込書に記入して郵送いただくか、電子メールに申込書の情報を入力してお申込みいただくことも可能です。ただし、電話でのお申し込みはできません。
- 申込み多数の場合は先着順とさせていただきます。受講可・不可の通知は**締切り後**にメール又は郵便でお知らせします。万が一、講座の3日前になっても何も連絡が届かなかった場合は、恐れ入りますが下記問合せ先までご連絡願います。

QRコード



申込み先
問合せ先

大分高等教育協議会 とよのまなびコンソーシアムおおいた事務局 (大分大学 学生支援部 教育支援課)

☎ 097-554-7641・8522 (土・日・祝日はお休みです。)
〒870-1192 大分市大字旦野原 700 番地
e-mail : manabi-jimu@oita-u.ac.jp
HP : <http://www.e-consortium-oita.org/k-hp/>



〈キリトリ〉

平成28年度 とよのまなびコンソーシアムおおいた連携講座 受講申込書

「豊の国学 分野別講座」を受講したいので申し込みます。

受講を希望する講座番号を○で囲んでください。※複数受講可

受講希望回	1	《第1回》 平成29年3月5日(日) 15:00~16:30	2	《第2回》 平成29年3月20日(月・祝) 13:30~16:40	3	《第3回》 平成29年3月26日(日) 15:00~16:30
ふりがな						性別
氏名						男・女
年齢	10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代・80代以上					
住所	〒 —					
連絡先 (必ず記入)	TEL () —		携帯電話		— —	
	メールアドレス		@			